

# ふみびと

第314号  
発行所  
文通村事務局  
編集 広報部  
千葉県成田市

## 当たり前でない 特別なもの

### ありがとう

久しぶりに振る舞われる実家での食事。かつては毎日のことだったそれも、離れて暮らすようになってからは特別なこと。何かのお祝いかのようないつもより豪華な夕食の前に感じるの、懐かしさとそれが当たり前だったあの頃以上の感謝の思い。

「ありがとう」「ごちそうさま」

両親がこの食事を用意するのにどれだけかを要したかを想像すると、それは「当たり前」のことではないことを感じます。

誰かに料理を振る舞う時は「おいしい」と思ってもらいたくて、手間と時間をかけて喜んでもらえるように作るものですが、毎日のこととなるとそういう思いで作ってくれたものであることもつい忘れがち。誰かに料理を作ること、作ってもらうこと、それが特別なことなのだと思います。せてくれたような気がします。



立ち春過ぎ、暦の上ではもう春だと言われる。「立春」について調べると、中国で生まれた暦によるもののため、日本の季節とは多少ズレているものらしい。と

あたりを見まわしてみれば、足元には可愛らしいつぼみをつけた草花が、頭上には初々しい新芽をつとしたり、私はこのささやかな春の気配を見つけられなかったかもしれない。そう思うと、さう

毎日毎日、新鮮な気持ちで感謝し続けるのは難しいこと。日常になればなるほど、「当たり前」のことが本当は当たり前なことではないことを感じにくくなるものです。仕事で周りの人たちがら受けているちょっとした

「ありがとう」真つ直ぐにそう言うこと、言われることのちょっとしたくすぐったいような心地よさを、お互いに分け合えたような気がして。

立ち春過ぎ、暦の上ではもう春だと言われる。「立春」について調べると、中国で生まれた暦によるもののため、日本の季節とは多少ズレているものらしい。と

あたりを見まわしてみれば、足元には可愛らしいつぼみをつけた草花が、頭上には初々しい新芽をつとしたり、私はこのささやかな春の気配を見つけられなかったかもしれない。そう思うと、さう

### 暦と感覚のズレ

立ち春過ぎ、暦の上ではもう春だと言われる。「立春」について調べると、中国で生まれた暦によるもののため、日本の季節とは多少ズレているものらしい。と

**風船便**

風船便はいつでも誰でも参加できますが、その受取は新規の方へ優先されます。誰に届くかは風次第...。送り方は簡単。下の風船便切手名を切り取って手紙に貼り宛名に「風船便を受け取った方へ」と書いて、差出人名を書くだけです。あ返信筒にの始は、事務局宛の筒に下まで封下ま交流り封今い交り

**お知らせ**

**2月の発送日**  
2月の発送は、27日の予定です。送りたいお手紙がある場合にはそれぞれ3日前(24日)までに事務局に到着することを、お近くの郵便局で確認の上ポストに投函してください。

**言葉の冊子**  
毎年恒例イベント「言葉の冊子」今年の目標は「にたくさんの投稿ありがとうございました。ホームページ上への掲載は2月15日頃を予定しておりますので、ぜひご覧ください！」